

小田原市空家等実態調査業務プロポーザル 質問及び回答一覧

No	資料名	項目	質問	回答
1	仕様書	第10条(資料の提供等)	2の(4)に『現在稼働中の空家等対策支援システム(以下「現システム」という。)に登録されている空家等の情報』と記載がありますが、特定作業に最大限活用するうえで詳細を把握したく、具体的にどのような項目の属性情報があるかご教示いただけますでしょうか。	調査番号、建物所在地(住居表示)、所有者の氏名及び住所、アンケート回答者の氏名及び住所、前回(平成28年度)の空家等実態調査調査票の各種項目及び評価ランク等の項目があります。 また、一部のデータには、固定資産税の課税台帳の情報(建物を特定するためのキー情報、建物の地番、所有者を特定するためのキー情報)の項目が入力されています。 詳細については、本業務の契約締結後に提供するものとします。
2	仕様書	第10条(資料の提供等)	水道閉栓情報の件数は何件ありますでしょうか。	水道閉栓情報は32,857件あります。 ただし、この件数には、本調査が対象としている戸建て等以外の閉栓情報を含みます。
3	仕様書	第15条(業務内容) (4)現地調査 イ 調査方法 (オ)	「作成した現況調査票は、CSV等にデータ化し、随時納入」と記載がありますが、これは(日々や週一でのデータ納入ではなく)適宜チェックポイントを設ける意図での納入という解釈で問題ないでしょうか。	週1回など、定期的に納入してください。
4	仕様書	第15条(業務内容) (4)現地調査 イ 調査方法 (オ)	「空家等対策支援システムデータとしてPDF等のデータを納入すること。」とありますが、PDFデータとは、空家等調査の個票をPDFデータ化したものを指すのでしょうか。またその個票には遠景・近景等の写真データも含まれますでしょうか。	PDFデータとは、空家等調査の個票をPDFデータ化したものを指しますが、例えば構築していただく空家等対策支援システムにおいて同等の帳票を出力できるのであれば、形式は問いません。 また、写真データの納入は必須ですが、個票に含まれなくても構いません。
5	仕様書	第15条(業務内容) (6)所有者アンケートの実施(集計・分析)	アンケートの設問数は何問でしょうか。また、封入する用紙の枚数は何枚程度想定されていますでしょうか。	アンケートの内容については、提案事項に含みます。したがって、優先交渉権者の決定後、提案内容を踏まえ、市と協議の上、決定します。 啓発用資料は1枚から5枚程度を想定していますが、優先交渉権者の決定後、市と協議の上、決定します。
6	仕様書	第15条(業務内容) (7)コールセンターの設置	コールセンターの開設期間の想定はありますか。また、コールセンターの営業時間は土・日・祝を除く9:00～17:00の時間帯でよろしいでしょうか。	コールセンターの開設期間及び営業時間は、提案事項に含みます。したがって、優先交渉権者の決定後、提案内容を踏まえ、市と協議の上、決定します。